

食品の放射能検査・窓口アンケート調査結果

・平成25年3月～5月調査実施

・31自治体の窓口訪問者391名分の回答を集計

Q1									
性別と年代									
男	女	未記入	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	未記入
164	224	3	0	10	31	34	78	231	7

Q2		→	2～10回目…………… 245人	
利用回数			10～50回目…………… 66人	
複数	今回が初めて		それ以上…………… 6人	
317	72		未記入…………… 2人	

Q3				
自家消費野菜等の放射能簡易検査について(複数回答可)				
検査結果を参考に する(した)。	検査結果をあまり参 考にしない。	測定することにより 安心する(した)。	測定するが安心とは いえない。	今後も利用したい。
298	2	299	16	302

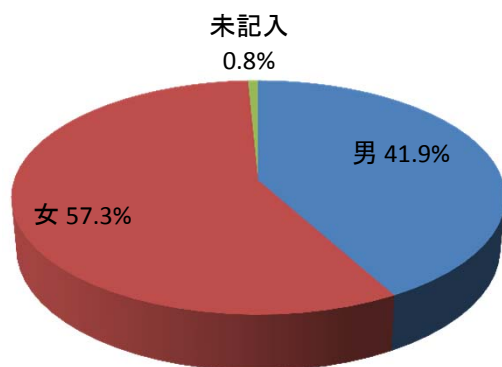
Q4			
放射能検査の活用方法について(複数回答可)			
1回検査した作物は その後再検査しない。	同じ土地(一区画)での作物は種類に 関係なく1回検査すればその後再検査 しない。	気になればいつでも 放射能検査する。	人に譲る場合などその都 度放射能検査する。
140	66	334	170

Q5			
自家消費野菜の放射能検査への要望について(複数回答可)			
検査結果の説明を 丁寧にしてほしい。	検査をもっと身近な 場所で行ってほしい。	検査野菜の量を少な くしてほしい。	検査にかかる時間を 短くしてほしい。
69	57	189	64

Q6				
「食の安全」のために必要と思うものについて(複数回答可)				
放射能の講習会の 開催	JAや農家の放射能 検査体制の拡充。	身近な検査体制の 充実。	出荷制限、放射能が含まれ やすい食品の情報。	放射能濃度を下げる ための調理方法。
108	117	100	210	140

Q 1

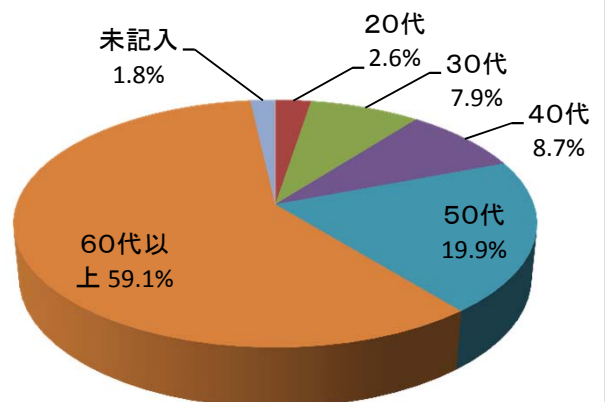
性別



回答者 391名

Q 1

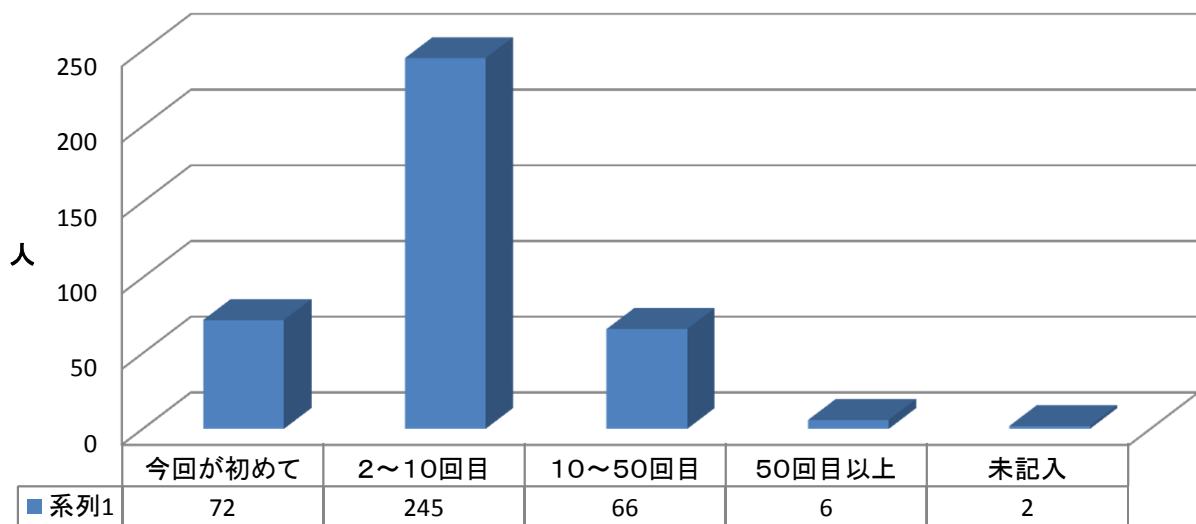
年代



回答者 391名

Q 2

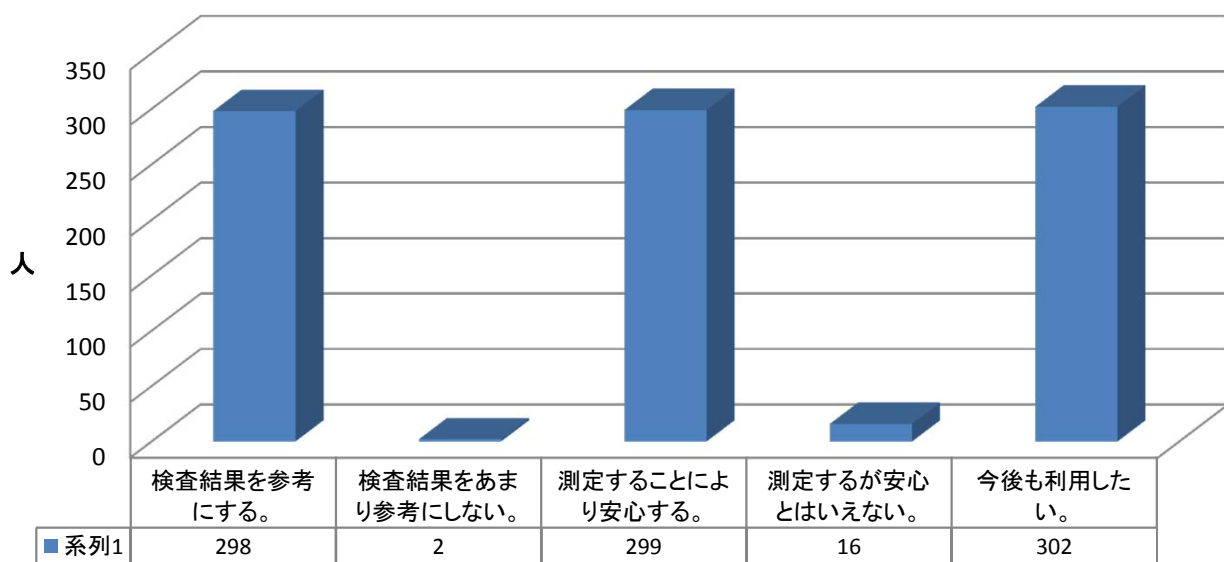
利用回数



回答者 391名

Q 3

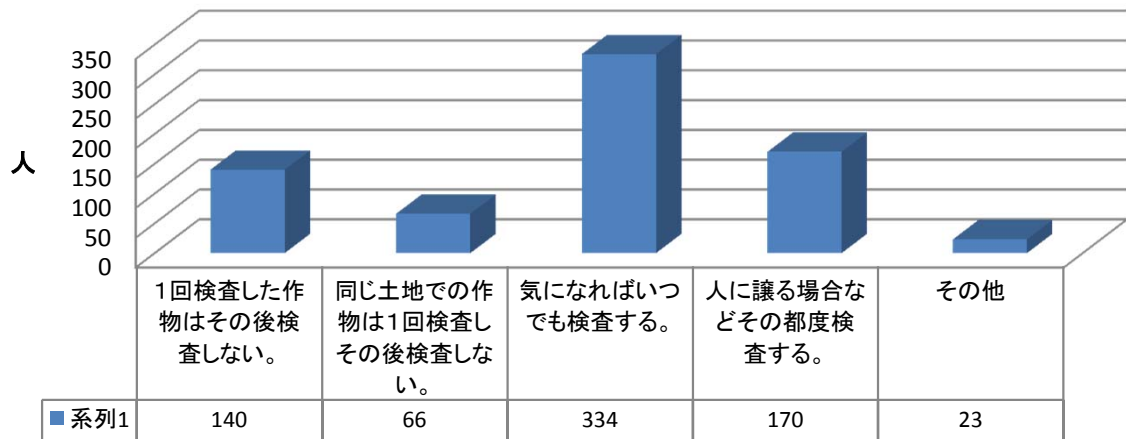
放射能簡易検査について



回答者 391名（複数回答あり）

Q 4

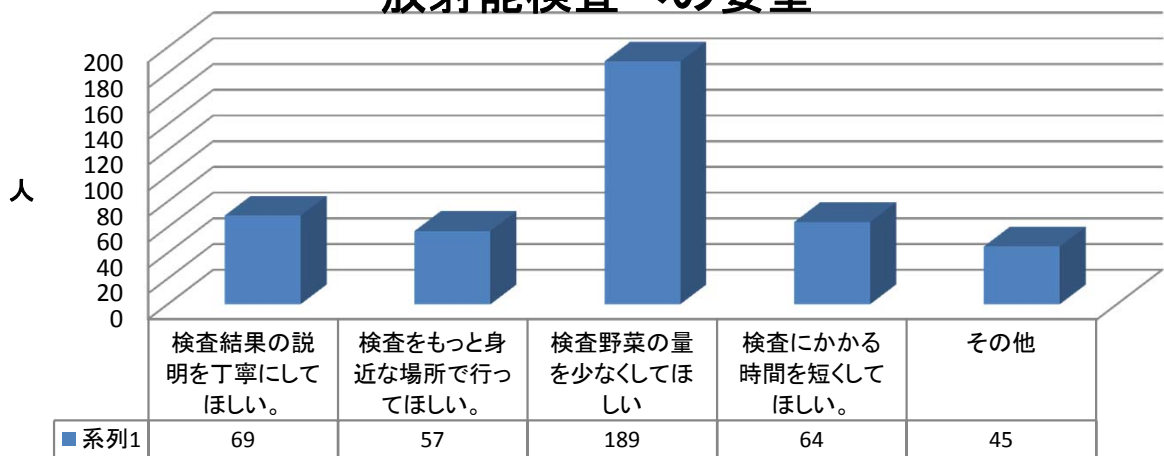
放射能検査の活用方法



回答者 387名（複数回答あり）

Q 5

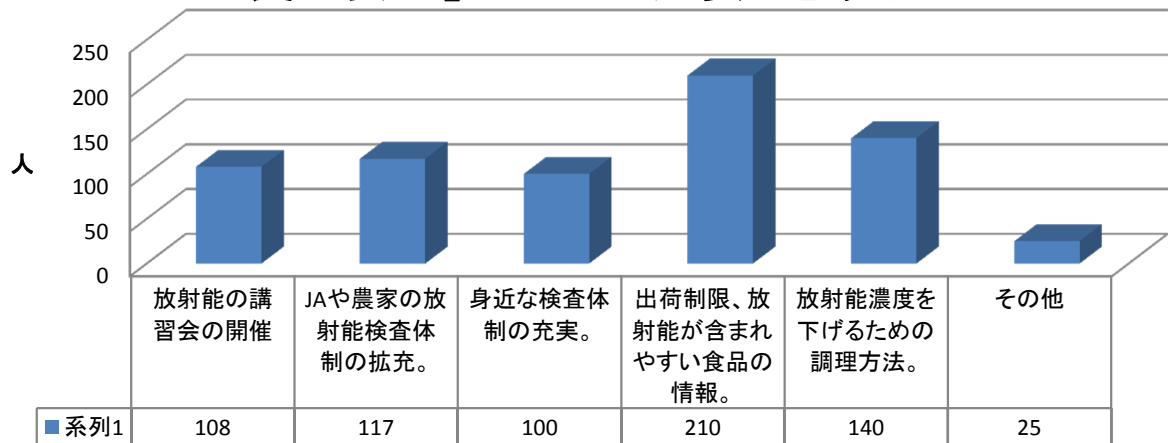
放射能検査への要望



回答者 284名（複数回答あり）

Q 6

「食の安全」のために必要と思うもの



回答者 332名（複数回答あり）